

エクボグループ



流体式 静電発電技術

プレスリリース 参考資料 1

～ 特許出願概要
実験観測概要 ～

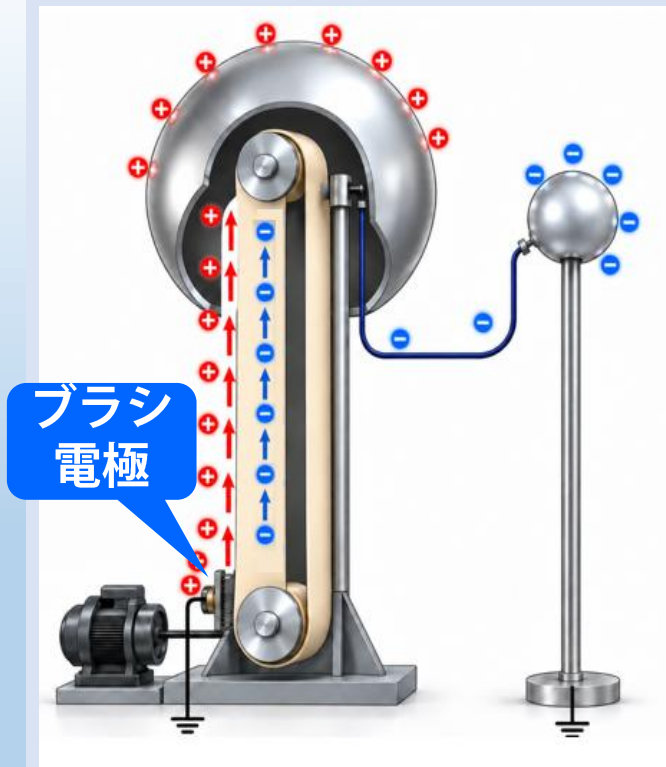
2026.9.16

流体式 静電発電機 特許出願概要

- ・ 静電発電機は、電荷を分離・誘起し、その電荷を運搬して特定の電極などに蓄積することで、電位差（電圧）を高める基本構造を持っている。
- ・ 本特許出願では、従来型が**ソリッド(個体)**で**電荷を運搬**していたのに対し、**流体で運搬**しようとするものである。

適用事例

従来(ソリッド)型 ヴァンデグラフ起電機



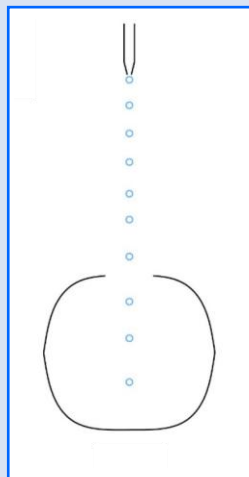
- ・ 下の方に示される**ブラシ**が摩擦で電荷を発生する。
- ・ それがベルトに載って上の球体電極まで運搬される。

流体型 ヴァンデグラフ起電機



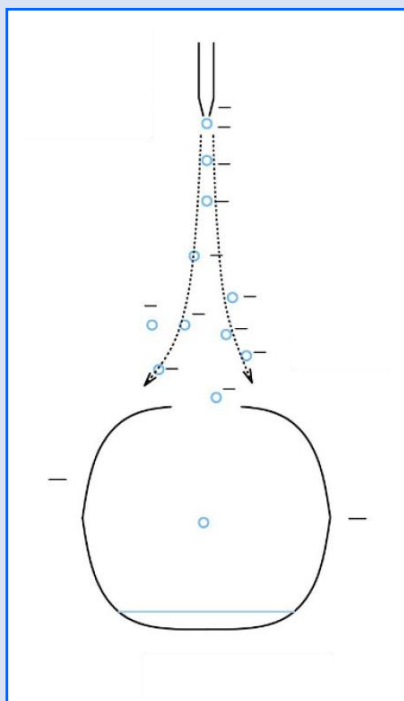
- ・ 流体中に**針電極**を置き**コロナ放電**により電荷を得る。
- ・ その電荷が流体に載って上部へ運搬される。

発展型 流体式静電発電機での観測

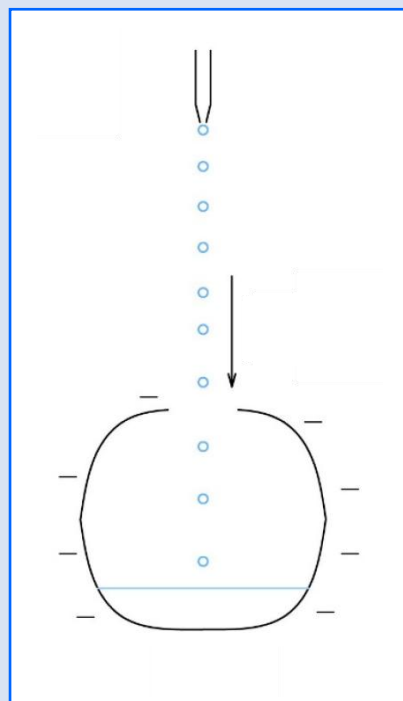
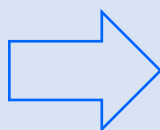


実験の開始時

- 帯電した水滴がタンクに落ちてゆく。
- 当初は鉛直軸に沿って落下している。



- しばらくすると拡散を始める。
- タンクに電荷が蓄積され、同極電荷の水滴をクーロン力で退けていると推定。



- そのまま放置すると、拡散していた水滴は、再び鉛直軸に沿って落下。
- 以前よりも、加速し始める。